

事業名	国際交流センター運営費		
細事業名	国際交流センター指定管理経費	財務コード	111102
担当部課室	観光 部 国際観光交流 課 国際交流 担当 (内線)		4403

事業の概要

実施期間	始期 H26 年度 ~ 終期 H30 年度
実施主体	指定管理者((公財)山梨県国際交流協会)
事業の目的	だれ(何)を対象に 県民、外国人
	その対象をどのような状態にして 国際交流活動等の機会と場が得られている
結果、何に結びつけるのか	国際化に即した地域社会の発展
事業の内容 主にH27年度	<p>1 施設の目的・性格</p> <p>(1)本県の国際交流、国際協力等の推進のための中核的拠点施設</p> <p>(2)海外からの研修員、姉妹友好地域からの留学生等の宿泊施設となっており、県が宿泊施設の利用許可を行っている。</p> <p>2. 指定管理者制度導入(H18~)</p> <p>(1)管理業務の内容</p> <p>センター会議室の利用の承認に関する業務 施設、設備器具の維持保全に関する業務 国際交流活動等に関する普及啓発業務、情報の収集及び提供に関する業務、相談に関する業務</p> <p>(2)主な事業</p> <p>多文化共生の社会づくりに関する事業 災害時における外国人支援、外国人住民のための「避難所体験」、外国文化講座、外国語講座、日本語講座、観光ボランティアガイド養成セミナー、医療通訳ボランティアセミナー等</p> <p>国際交流に関する事業 やまなし文化体験、国際交流サロン「安らぎの国ハンガリー」、ワールド・チャリティー・クリスマス、カンボジア・スタディツアー、市町村国際交流協会等連絡会「災害に備えるやさしい日本語ワークショップ」等</p> <p>国際協力に関する事業 国際交流人材バンクの運営、海外技術研修員等受入事業等</p> <p>国際理解に関する事業 国際理解講演会、オープンキャンパス「やまなしYIA国際塾」、国際交流・国際理解のための高校生の主張大会</p>
根拠法令等	山梨県立国際交流センター設置及び管理条例

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	26年度		27年度		28年度		29年度		事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	実績値	目標値		
活動指標	会議室の稼働率	稼働率:27.7%	32%	31.8%	33%	34%	活動指標	目標設定の考え方	目標設定の考え方 H24から年1%増加、H24:29% H29:34% 過去3箇年の平均値
	施設の延べ利用者数	人数:20,864人	20,443人	23,542人	21,135人	21,135人		データの出典等	事業報告書、モニタリングシート
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			%					
成果指標	主催事業参加者数	人数:4,457名	4,360名	4,598名	4,440名	4,440名	成果指標	目標設定の考え方	目標設定の考え方 外国文化講座を除く過去3箇年の 平均値+平成27年度外国文化講座 の全定員数の合計(H27) すべての利用者が満足すること
	利用者満足度	満足:87%	100%	94.2%	100%	100%		データの出典等	事業報告書、モニタリングシート
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%					
決算額又は予算額 (千円)うち一財額	36,975 29,405		37,291 29,912		36,581 29,318		36,796 29,340	成果指標によらない成果	会議室を「これからも利用したい。」との声が多く寄せられており、利用者満足度調査においても同様の意見を頂戴している。
所要時間(直接分)	3,648 時間		3,648 時間		3,648 時間		3,648 時間		
所要時間(間接分)	時間		時間		時間		時間		
所要時間計	3,648 時間		3,648 時間		3,648 時間		3,648 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,044円×所要時間)	7,457		7,457		7,457		7,457		

これまでの事業の見直し・改善状況

<ul style="list-style-type: none"> インターネットを利用した電子申請(やまなしくらしねっと)により施設予約を行う方法に改善(H27年度)。 ポケットWiFiを活用し、全ての会議室においてインターネットへの接続を可能とした(H27年度)。 効果的に学んでいただくため、外国語講座(英語、仏語、イタリア語、スペイン語)の定員を15名から10名とし、少人数制とした(H27年度)。

活動量と成果の判断(平成27年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定 H27年度 活動指標 の達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること 会議室の稼働率は前年度から4.1%増加の31.8%であり、施設の延べ利用者数23,542人とともに、いずれも概ね目標どおりであることから、予定どおりの活動量がある。
	b	
a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)		

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H27年度 成果指標 の達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること 平成27年度の主催事業参加者数は、概ね目標どおりであり、施設利用者の満足度は94.2%と高い評価を得ている。これらのことから、意図した成果をほぼ上げている。
	b	
a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)		

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	山梨県の国際化を推進する中核的拠点施設として役割を果たしてきたが、今後も国際交流の拡大や多文化共生の促進等新たな課題に対しても積極的に取り組み、利用者にとって利用しやすく、事業に参加しやすい場となるよう、事業の充実に努めていきたい。 このため、ホームページやフェイスブックを活用していくほか、効果的なPRを検討するとともに、誰でも参加しやすくなるような魅力的な事業実施に取り組み、主催事業への参加者増につなげ、加えて、利用者のさらなる満足度の向上に努める。 また、急速な国際化に的確に対応していくためには、グローバル人材の育成が重要であり、特に次代を担う青少年の人材育成が必要とされる。については、学校など教育機関とも連携する中で、国際交流センターで開催される交流イベント等への参加を働きかけ、より一層の国際理解の増進を図る。	m
・「以外の判断項目」の欄 a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託 i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: ITの改善 m: その他		

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	国際交流センターは、施設の老朽化に伴う建替や大規模改修に多額の経費が見込まれることから、今後の施設のあり方について検討する必要がある。 宿泊施設については、今後の利用見込や費用対効果を検証したうえで、必要性の検討を行い、継続の可否を判断する。また、国際化の推進等に係る事業のための施設のあり方については、今後の本県における国際交流、国際協力等の推進のための中核的拠点施設の必要性について検討する。なお、この検討は、平成30年における次期指定管理選定時までに行う。	m
・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	施設のあり方について今後検討を行い、宿泊施設については、今後の利用見込や費用対効果を検証したうえで、必要性を検討し、継続の可否を判断する。 また、国際化の推進等に係る事業のための施設のあり方については、今後の本県における国際交流、国際協力等の推進のための中核的拠点施設の必要性について検討する。
見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること 見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること	

課題と見直しの方向性	
県の施設としての必要性	(国、市町村または民間の類似施設の状況、業務(機能)の必要性、施設の必要性(当施設がないとできないか)、必置規制等を踏まえ県が設置する個別の理由はあるか等) 外国人住民との「多文化共生」の重要性が一層高まる中で、社会情勢の変化を踏まえ、国際交流事業等の実施を通じて、県民により多くの国際交流、国際協力の実践の機会を提供し、地域レベルの国際化を推進する重要な役割を担っていること、海外からの研修員、姉妹友好地域からの留学生等の宿泊施設ともなっていることから、県の施設としての必要性がある。
廃止・移譲・集約化・複合化等	(廃止した場合の影響、市町村・民間等への移譲の検討、類似施設・近隣施設との集約化・複合化の可能性等) 市町村や市町村国際交流協会、地域の大学など関係団体と連携・協働しながら、国際交流等の推進を図る拠点施設としての機能を果たせる類似施設は他にない。山梨の国際化を進める中核的施設であることから、廃止・委譲・集約化・複合化をすべき施設には相応しないと考える。
管理方法	(指定管理者制度の導入の可否、指定管理者制度導入の効果、業務委託・職員配置・利用料金は適正か等) 指定管理者制度の導入により、経費削減など管理運営上の効果が図られており、引き続き同制度の継続を原則とする。
利用状況	(利用者の増減理由、利用者増に向けた取組、利用者が少ない施設の根本的な改善策、利用者の意見を取り入れているか等) 主催事業の参加者は昨年度に比べ増加している。また、平成27年度から電子申請により施設予約を行う方法に改めたところであり、会議室の利用者数及び稼働率ともに増加している。利用者の意見についても、迅速な対応を心掛けており、利用者満足度も高い評価を得ている。
効率性	(収支の状況・利用者1人当たりの経費の状況は効率的か、業務内容の効率性・経費の効率性から見て、改善の余地はないか等) 指定管理委託料に基づき、適正に施設の管理運営を行っており、利用希望者のニーズにあった利用ができています。なお、国際交流センターは使用料を徴収する施設ですが、利用料金制を採用しておらず、施設使用料は県の収入となっている。
規模の適正性	(施設の規模は業務内容に照らして適正か、未利用の部屋・施設はないか、施設更新時の減築の可能性等) 会議室の利用希望者に対する利用の確保は図られており、平成27年度の会議室の稼働率は31.8%であることから、県民の国際化に係る機会の提供という目的に沿った利用としては、概ね適正な規模と考えている。今後も稼働率の向上に努めるとともに、利用者サービスの向上に取り組む。
社会環境の変化	(当初目的は達成しているのではないか、事業量は適正か、県民ニーズの変化に対応しているか等) 近年の国際化の進展や、外国人観光客の増加などにより、外国人が地域の一員として安心して生活でき、また活動できる多文化共生社会の推進が求められるようになった。これまでの国際交流、国際協力などの事業に加え、外国人住民を支援する多文化共生事業により一層取り組む。
その他の課題	(老朽化の状況、耐震化未実施施設の状況、改築の必要性等) 建築後25年以上経過し、施設の老朽化が著しいため、適切な維持管理を行い、施設利用者に対して、安全で快適な施設環境を提供する必要がある。

例示の項目を十分に踏まえた記載とすること。

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立国際交流センター	所管課	観光部 国際観光交流課
所在地	甲府市飯田2-2-3	設置年月日 (改築年月日等)	平成2年11月30日
指定管理者	公益財団法人 山梨県国際交流協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立国際交流センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に国際交流活動等の機会と場を提供し、もって国際化に即した地域社会の発展に寄与するため、国際交流センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	(1) 敷地面積 3,476.56㎡ (2) 建築延面積 2,448.36㎡ (3) 建物の構造 鉄筋コンクリート造、地上4階建 (4) 施設の内容 山梨県立国際交流センター 1階から4階(2,306.32㎡) (5) 国際交流センター施設概要 大会議室1室(80名収容)、小会議室4室(各15名収容)、宿泊室20室(シングル)、宿泊室利用者用共同調理室、同食堂、フリースペース、閲覧コーナー、事務スペース、和室1室(10名収容)等		
主な業務内容	(1) 県民に国際交流活動等の機会と場を提供するための事業の実施 (2) 国際化に即した地域社会の発展に寄与するための場の提供		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	なし
---------------------	----

3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	主催事業参加者数	4,266	4,457	4,598	
	(会議室等延べ利用者数)	(18,999)	(20,864)	(23,542)	
	利用者数合計	4,266	4,457	4,598	
	目標値	4,770	4,330	4,360	4,440
	目標値設定の考え方及びその理由	H22～24の3か年の実績平均を算定し、H25の目標とした。国際フェスタは隔年実施となったため、H26以降は含めない。	H23～25の3か年の実績平均値。ただし、外国文化講座は定数減となったため、目標値を減じた。	外国文化講座を除く過去3箇年の平均値+外国文化講座の全定員数の合計	過去3箇年の平均値
	対25年度比	-	104.5%	107.8%	104.1%
	利用率	26.9%	27.7%	31.8%	33.0%

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	36,975,000	37,291,000	37,291,000	36,581,000
	その他	88,884	90,000	83,662	90,000
	収入合計(A)	37,063,884	37,381,000	37,374,662	36,671,000
支出	人件費	20,373,121	21,813,941	20,908,515	22,329,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	17,561,699	15,567,059	17,970,133	14,342,000
	うち外部委託費(B)	5,520,436	5,914,000	5,666,620	5,943,000
	支出合計(C)	37,934,820	37,381,000	38,878,648	36,671,000
収支差額(A-C)	△ 870,936	0	△ 1,503,986	0	
外部委託比率(B÷C)	14.6%	15.8%	14.6%	16.2%	
利用者一人当たりの経費	8,295.9	8,553.0	8,110.3	8,239.0	

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:事業参加者・貸館利用者へのアンケート 回答数:252件
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
利用前の、利用場所の清掃・整頓の状態	97.2%	2.8%	0.0%	0.0%
施設設備の充実度	96.8%	3.2%	0.0%	0.0%
施設設備の整備状態	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%
施設使用料について	安い 52.0%	ちょうどいい 45.2%	高い 2.8%	—
サービスの提供内容	94.8%	5.2%	0.0%	0.0%
これからも利用したいと思うか。	する 98.0%	どちらともいえない 2.0%	しない 0.0%	—
施設利用についてどのようにして知ったか。	知人 18.9%	パンフレット 47.0%	新聞 20.1%	その他 14.0%
施設全般の満足度	94.2%	5.8%	0.0%	0.0%

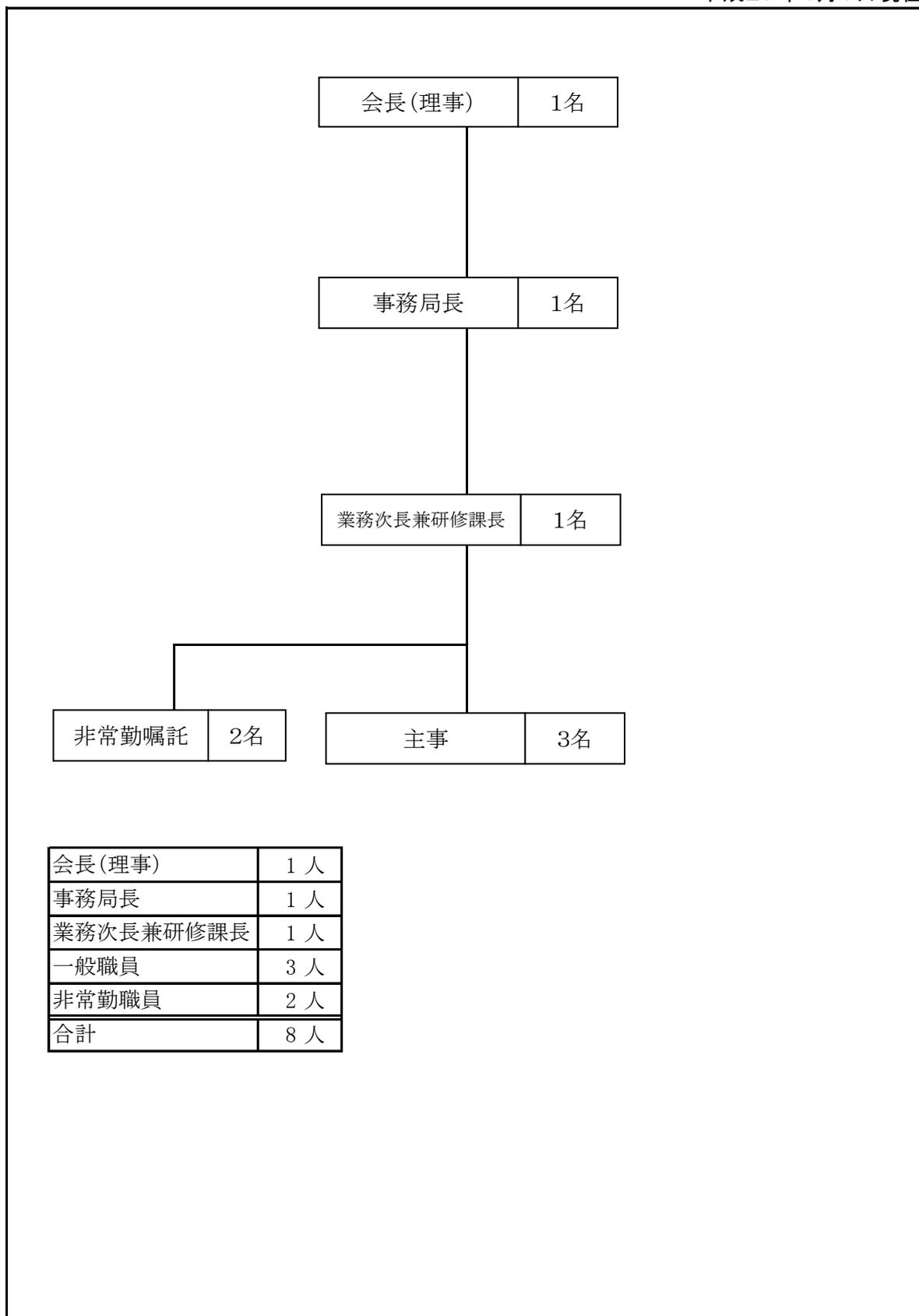
利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の行き届いた清掃が気持ちよかった。 ・ジュータン、カーテンがクリーニングされ気持ちよかった。 ・当日の丁寧な対応、プロジェクター等の使い方の指導に感謝する。 ・大会議室に時計はあるが、前後に設置されていると便利である。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・大会議室の前後に見やすい時計を設置した。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、施設の維持管理業務を適正に執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり、施設の維持管理については良好に実施されている。今後も安全で快適な施設を目指し、管理責任を果たしてほしい。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。特に、外国人観光客の増加や災害等への備えとして、医療通訳ボランティアの育成や外国人住民を対象とした避難所体験などの多文化共生事業に力を入れていきたい。	国際交流、国際協力等に関する様々な事業を展開しており、事業報告書等での確認の結果、適正に実施されている。今後も、より魅力的、効果的な事業の実施に努めてほしい。
利用状況	会議室の電子申請導入により、利用者の利便性を向上させることができたこと、利用促進のためPRを徹底したことから、稼働率の向上に繋がった。今後も引き続き、稼働率を上げるためのPRを工夫する。	ホームページの充実やフェイスブックを活用するなど、積極的な情報提供に取り組んでいると認められる。効果的なPR活動を行うとともに、各種団体等との連携を図り、主催事業参加者や会議室利用者の増加につなげてほしい。
収支状況	限られた予算を効率的、効果的に執行した。また、施設の老朽化に伴い、修繕費の増加が今後も予想されるため、節電・節水の徹底などを更に図っていく。	節電・節水により、過去と比較して光熱水費の削減が図られており、経費節減に努めていると認められる。サービス水準を維持し、利用者に適正な運営を行いつつ、より一層の経費節減に取り組んでもらいたい。
自主事業	自主事業として外国語講座を実施し、全ての講座で定員を満了した。特に人気の高い英語の講座を更に充実させたい。	計画どおり適正に実施されている。
利用者満足度	会議室を「これからも利用したい。」との声が多く寄せられた。今後も利用者の声に真摯に耳を傾けながら、より一層のサービス向上に努めていく。	施設全体の満足度は満足が94.2%であり、高い満足度が得られている。今後も利用者の声を取り入れ、国際交流拠点としてのセンターの機能強化に、より一層努めてほしい。
運営目標の達成状況	主催事業参加者数は目標を達成することができたので、引き続き利用促進を図るため、更なる効果的なPRに努める。国際交流活動等の場を積極的に提供するとともに、社会の変化に適切に対応した多文化共生事業に力を入れるなど、地域レベルの国際化を推進する拠点として、運営目標を達成したい。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務・自主事業等については、条例、協定書および仕様書等に基づき、適正に履行されている。加えて、利用者の声を反映し、サービス向上に努めており、施設内の清掃や施設設備、施設全般の満足度について高い評価を得ていると認められる。また、多様な事業実施や、施設利用率の向上に向けて努力している点は評価できる。 引き続き、安全で快適な施設を目指すとともに、国際交流拠点としての機能を強化し、魅力ある事業の実施と、より一層の施設利用率の向上に向けて努力されたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	駐車場にスポットライトを設置し、夜間の施設利用者の便宜を図った。また、利用者から要望があった大会議室への時計設置についても速やかに対応し、利用者にとって使いやすい快適な環境となるよう心掛けた。 今後も利用者の増加に向け、ニーズを把握し、より利用しやすい施設を目指してきめ細かな方策を講じていく。また、国際交流拠点としての特性を最大限に活用しながら、県民参加型の各種事業が展開できるよう取り組む。	

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在



山梨県立国際交流センターについて

1. 経緯

(1) 現国際交流センター設置の背景

昭和 62 年 3 月 地方公共団体における国際交流の在り方に関する指針

自治省（現総務省）から、地方公共団体による国際交流を推進するための施策についての指針が出された。

3 国際交流活動のための施設基盤づくり

国際交流活動を円滑に進めていくため、既存施設の有効利用を図るとともに、ハード面の整備が必要な場合は、国際交流センター、コンベンション施設、国際見本市会場等国際交流活動の中心となる基幹的施設の整備につき、まちづくり特別対策事業や本年度より実施されているリーディング・プロジェクト（国際都市整備）の活用を検討するのが適当である。（抜粋）

平成元年 2 月 地域国際交流推進大綱の策定に関する指針について

自治省（現総務省）から、都道府県及び指定都市が地域の国際交流施策を総合的かつ計画的に推進していくための大綱の策定指針が出された。

6 国際交流施設等の整備

(1) 国際交流施設

地域における国際交流活動の核となる施設として、国際交流センター、コンベンション施設、国際見本市会場等の基幹的施設を必要に応じて整備していくことが必要である。（抜粋）

(2) その他の公共施設の整備

国際交流を推進していくためには、これからの地域づくり、まちづくりの中に国際交流という視点を導入することが必要である。また、空港、港湾、高速交通網等の交通体系、留学生、研修生等の外国人滞在者を受け入れるための宿泊施設等の整備も必要である。（抜粋）

平成元年 2 月 山梨県国際交流基本計画

地域の国際化を推進するためには、県民自らが主体となった国際交流の推進を図る必要があり、そのためには活動の中核拠点施設の確保が重要であるとのことから、山梨県国際交流基本計画にセンターの整備が位置付けられ建設を開始。

(2) 国際交流センターの沿革

前身の国際交流センター

昭和53年10月28日、国際化時代に対応して、姉妹州県事業の推進、海外技術研修員の集合研修場・専用宿舎として使用するために設置された。

- ・所在地 甲府市飯田3-6-54
- ・規模 鉄筋コンクリート造、地上2階建
- ・施設概要 宿泊室7、談話室1、事務室1
- ・利用者 県が受入れる海外技術研修員

国際交流センターの移転・新築について

国からの通知(上記(1))等を受け、新たな施設整備を決定。

・目的、効果

急速に進展しつつある国際化に対処するためには、現行の国際交流センターでは、機能、規模ともに十分ではないことから、その整備を行い、山梨県の国際化並びに国際交流活動の推進を図る。

・整備内容

県民が主体となった国際交流活動の促進を図るためには、その拠点となり得る施設の整備が不可欠であることから、移転・新設し抜本的な整備を図る。

海外各種研修員等の受入れ宿泊機能の強化

交流施設としての機能整備

国際理解教育、外国語教育等の推進機能の整備

各種相談受付機能の整備

国際交流に係る会議等の開催の場としての機能整備

国際交流に関する情報収集、提供機能の整備

国際交流に係る関係団体との連絡及び調整機能の整備

現在の国際交流センター

平成2年11月30日、県民に国際交流活動等の機会と場を提供し、もって国際化に即した地域社会の発展に寄与する施設として設置された。

- ・所在地 甲府市飯田2-2-3
- ・規模 鉄筋コンクリート造、地上4階建
- ・施設概要 大会議室1、小会議室4、宿泊室20、フリースペース、事務室1
- ・利用者 県民及び外国人、海外からの研修員等

2. 施設の目的・性格

(1) 本県の国際交流、国際協力等の推進のための中核的拠点施設

(2) 海外からの研修員、姉妹友好地域からの留学生等の宿泊施設

県が宿泊施設の利用許可を行っている。

3. 指定管理の現状

(1) 指定管理者

国際交流センターは、指定管理者として、(公財)山梨県国際交流協会が管理運営を行なっている。(1 期 : H18 ~ H20、 2 期 : H21 ~ H25、 3 期 : H26 ~ H30)

(2) 管理運営業務の内容

センター会議室の利用の承認に関する業務
施設、設備器具の維持保全に関する業務
国際交流活動等に関する普及啓発(催し・講座等の実施)に関する業務
国際交流活動等に関する情報の収集及び提供に関する業務
国際交流活動に関する相談に関する業務

(3) 事業の取り組み状況

指定管理委託事業として、国際交流・国際協力・多文化共生に係る実践の機会を提供するため、様々な事業を実施している。

4. 将来的なビジョン

- (1) 国際交流、国際協力、多文化共生、国際観光振興に係る事業を推進するとともに、より一層、市町村や関係団体との連携・協働を図り、県民が「世界」や「国際化」を肌で感じることができるよう、魅力ある事業の実施を行う。
- (2) 外国人住民と日本人住民が多様性を認め合い、相互理解を深め、安全で安心して生活ができる多文化社会の形成を推進していく。

平成27年度 山梨県立国際交流センター主催事業実施状況

	事業名	事業実施の概要	参加者数
1	外国文化講座	様々な国の芸術、音楽、料理、生活などを紹介し、異文化理解を深めるための講座を開催	451
2	外国語講座	外国語習得を目指す県民向けに少人数制の語学講座を提供	1,573
3	国際理解講演会	国連思想の普及と併せ国際交流、国際協力に対する理解促進を図るための講演会を開催 ・「ニュースの職人が見たニッポンと世界」	500
4	パネル展	主催事業に関するパネルやポスターを展示する他、JICAなど関係団体の活動を紹介するパネル展を開催 ・JICA青年海外協力隊50周年記念展	123
5	国際交流サロン やまなし文化体験	異文化理解の促進を図るため、県民を対象に様々な交流プログラムを実施。山梨への理解を含めることを目的に、外国人を対象として山梨の歴史や文化を見学や体験を通して紹介。 ・「安らぎの国ハンガリー」、「やまなし文化体験」	128
6	ワールド・チャリティ・クリスマス	チャリティーを目的として、外国の様々な音楽や民族舞踊の発表、外国料理の紹介などを行うクリスマスイベントを開催し、その収益を国際協力団体等に寄付	450
7	オープンキャンパス「やまなしYIA国際塾」	国際感覚豊かな人材を育成するため、国際分野で活躍する様々な人材を講師として招いて開放講座を実施 ・「地球のステージ」、「JICA駒ヶ根訪問」	123
8	高校生弁論大会	国際交流、国際協力に対する理解促進を目的として、高校による弁論大会を開催	40
9	カンボジア・スタディツアー	カンボジアの地雷除去の現状を把握するとともに、復興地域の人々との交流を行うことで、一層の国際交流、国際貢献への理解を深めるため、現地を訪問	100
10	民間国際交流団体支援	やまなしインターナショナルネットワーク(YIN)など民間国際交流団体に対し支援を行うほか、民間国際交流団体の強化と会員相互の連携強化を図る。	146
11	市町村等国際交流協会連絡会	市町村等国際交流協会の事業紹介をはじめ、協会が抱える課題等について意見交換を行う連絡会を開催 ・災害に備えるやさしい日本語ワークショップ	40
12	観光ボランティアガイド研修	やまなし観光推進機構と連携し、英語、中国語、韓国語に対応した観光ボランティアガイドを育成するための研修を実施	47
13	日本語講座	県内在住外国人を対象に無料で実践的な日本語講座を実施 金・土曜日(夜間)	673
14	外国人住民地域防災力向上事業	「災害時外国人支援セミナー」、「外国人住民のための『避難所体験』」等を実施し、地域住民及び外国人住民の地域防災力の向上を図る。	70
15	災害時通訳ボランティアセミナー	市町村と連携し、災害時における外国人支援を目的として通訳ボランティアを育成するためのセミナーを開催	30
16	医療通訳ボランティアセミナー	医療機関において日本語での意思疎通が困難な外国人支援を目的として、医療に関する通訳ボランティアを育成するためのセミナーを開催	50
17	国際交流センター利用者 のための防災訓練	国際交流センター利用者(3、4階入居者、会議室利用者、パスポートセンター利用者等)を対象として、地震・火災等の災害発生時を想定した避難訓練を実施	54
合 計			4,598

平成27年度 山梨県立国際交流センター利用状況

	名称	大会議室	小会議室					会議室計	宿泊室	合計
			アイオワ	ミナス	四 川	忠 北	小計			
4月	人数	288	369	255	69	197	890	1178	256	1434
	件数	(12)	(40)	(30)	(8)	(19)	(97)	(109)	(256)	(365)
	稼働率	16.0%	53.3%	40.0%	10.7%	25.3%	32.3%	29.1%	42.7%	
5月	人数	233	277	287	95	256	915	1,148	279	1,427
	件数	(9)	(35)	(30)	(9)	(26)	(100)	(109)	(279)	(388)
	稼働率	11.1%	43.2%	37.0%	11.1%	32.1%	30.9%	26.9%	45.0%	
6月	人数	393	368	307	160	252	1,087	1,480	327	1,807
	件数	(15)	(44)	(47)	(31)	(27)	(149)	(164)	(327)	(491)
	稼働率	20.0%	58.7%	62.7%	41.3%	36.0%	49.7%	43.7%	54.5%	
7月	人数	290	313	264	103	295	975	1,265	431	1,696
	件数	(10)	(35)	(40)	(26)	(31)	(132)	(142)	(431)	(573)
	稼働率	12.3%	43.2%	49.4%	32.1%	38.3%	40.7%	35.1%	69.5%	
8月	人数	445	308	261	87	208	864	1,309	465	1,774
	件数	(9)	(30)	(26)	(9)	(16)	(81)	(90)	(465)	(555)
	稼働率	11.5%	38.5%	33.3%	11.5%	20.5%	26.0%	23.1%	75.0%	
9月	人数	465	389	320	138	320	1,167	1,632	464	2,096
	件数	(12)	(37)	(29)	(13)	(24)	(103)	(115)	(464)	(579)
	稼働率	15.4%	47.4%	37.2%	16.7%	30.8%	33.0%	29.5%	77.3%	
10月	人数	671	452	419	218	353	1,442	2,113	527	2,640
	件数	(13)	(43)	(39)	(21)	(28)	(131)	(144)	(527)	(671)
	稼働率	16.0%	53.1%	48.1%	25.9%	34.6%	40.4%	35.6%	85.0%	
11月	人数	285	265	238	431	339	1,273	1,558	510	2,068
	件数	(9)	(27)	(21)	(34)	(26)	(108)	(117)	(510)	(627)
	稼働率	12.5%	37.5%	29.2%	47.2%	36.1%	37.5%	32.5%	82.3%	
12月	人数	970	376	282	175	306	1,139	2,109	527	2,636
	件数	(13)	(32)	(28)	(12)	(22)	(94)	(107)	(527)	(634)
	稼働率	18.8%	46.4%	40.6%	17.4%	31.9%	34.1%	31.0%	87.8%	
1月	人数	427	372	328	168	176	1,044	1,471	458	1,929
	件数	(12)	(34)	(35)	(13)	(16)	(98)	(110)	(458)	(568)
	稼働率	16.7%	47.2%	48.6%	18.1%	22.2%	34.0%	30.6%	73.9%	
2月	人数	545	345	288	78	297	1,008	1,553	377	1,930
	件数	(14)	(31)	(33)	(8)	(24)	(96)	(110)	(377)	(487)
	稼働率	20.3%	44.9%	47.8%	11.6%	34.8%	34.8%	31.9%	67.3%	
3月	人数	455	428	386	115	373	1,302	1,757	348	2,105
	件数	(13)	(38)	(41)	(11)	(29)	(119)	(132)	(348)	(480)
	稼働率	16.0%	46.9%	50.6%	13.6%	35.8%	36.7%	32.6%	56.1%	
合計	人数	5,467	4,262	3,635	1,837	3,372	13,106	18,573	4,969	23,542
	件数	(141)	(426)	(399)	(195)	(288)	(1308)	(1449)	(4969)	(6418)
	稼働率	15.5%	46.7%	43.8%	21.4%	31.6%	35.9%	31.8%	68.1%	

H27年度の開館日数 304日

過去の利用者数

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
18,285	20,519	23,469	20,360	22,844	24,361	22,846	21,467	18,999	20,864

県支出の修繕費、備品購入費等一覧

(別紙1)

(単位:円)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
指定管理費	39,716,000	39,828,000	39,918,000	38,889,000	35,820,000	36,725,000	37,448,000	37,667,000	36,975,000	37,291,000	
県支出	施設修繕・改修費 (20万円以上/件)				1,932,980	17,609,507	4,411,050	306,442	15,625,704	9,081,720	
	備品修繕費 (20万円以上/件)										
	備品購入費										
	小計	0	0	0	0	1,932,980	17,609,507	4,411,050	306,442	15,625,704	9,081,720
	施設火災保険	29,164	29,164	20,052	20,052	14,036	14,036	14,036	10,990	10,990	10,990
	損害賠償(施設の瑕疵)										
	その他()										
	合計	29,164	29,164	20,052	20,052	1,947,016	17,623,543	4,425,086	317,432	15,636,694	9,092,710

指定管理者との基本協定書に基づき県が負担する事項(金額)について記載してください。
他に支出がある場合は、「その他()」に項目を追加してください(複数項目ある場合は行を追加してください)。